ああ、琴乃さん
その向き
ダメッ!!
右に重心
かけて――
えっ えっ
こ こう?
ダメッ!!!
それ左…
わっ、わっ!!
落ちるっ!!
落ちるっ!!!
こ琴乃さんっ!!!
キャッ!?
ズズズッ
キャ――ッ!!!!!
ドタンッ
いたた
――――
くない…
奇跡だ!!!
きっと日頃の
行いがいいから
神様が……
ムニッ
あれ?
全然痛く
ない!!!

あっ
……
涼君ホントに
大丈夫？
無理してない？
顔赤いけど
熱っぽかったり
しない？
気分
悪くない？
気分かなり
いいです
清水？
ヒモ？
よがっだ
!!
もし涼君に
何かあったら
わだじ…
!!
清水の舞台から
飛び降りるところ
だった

ごめんね
私が意地張った
ばかりに――
で、ベランダから
落とした物は
とれたんですか？
もちろん！
お気に入りだから
死守したわよ!!
……
やっぱり下着
だったか!!
いいっすよ
そんなの
そうそう
おばさまには
あとでしっかり
謝りにいくわね
コホン!!
だめよ、大人の
ご近所づきあいは
大切なの！
えっへん
大丈夫よ
ちゃーんと
誉めてもらえるように
言うから――
ご褒美もらえる
わよ♥
いいっすよ
ご褒美なら
もうもらってます
から……
もう……
もらってる？
？

琴乃さんが落ちたとき……
琴乃さんの見事なお尻が――――
大きくてムニュっとしてもう最高でした
あれ以上の褒美なんてありません
エッチ
イテッ!!!
にしてもこんなお尻がね……
主人はデカ尻って言って邪魔物扱いだし――――
私自身誰かに半分あげたいくらいだけど…
あ ごめん

もったいないな
デカ尻最高
なのに――
ふまれてるとき
天国の気分でしたよ
一応
大きいの気にして
るんだから――
デカ尻デカ尻
連呼しないで
くれる！
僕的には
もっとデカ尻でも
――
ブフッ
い…
な なんだ
息が…
息が
できない…
これでも
デカ尻の方が
いいっていう？
ﾊｧ
ﾊｧ
何が…
えっ…

フフーン 涼君にデカ尻の恐ろしさ教えてやるぅ!!!
きっき言った事後悔しても遅いんだから!!!!
えいっ!! えいっ!!!
琴乃さはぶ…
この感触…この弾力……ゆ 夢じゃねぇ!? 琴乃さんのお尻
琴乃さんのデカ尻だぁぁ〜〜〜〜〜〜っ!!!!!
どうよ!! デカ尻の恐ろしさ思い知ったか!!!
ムニムニ柔らけー!! ホカホカあったけー!!! 天国!! 天国だ〜〜〜〜〜〜〜っ!!!
うり うり〜
やべーすげーエロい匂いがする!!! 甘く淫靡な人妻の体臭(にお)いうはー最高っ!!!
それだけじゃないなんとも刺激的で焦げたような…チーズのような匂い…
チーズの匂い? ピザの匂い?
ま、まさかこれっておまんこの匂い? 琴乃さんのおまんこの匂いなのか? うぎゃー エロい エロ過ぎる!!!
もっと押しつけて!! もっと嗅がして!!! 一生この匂い嗅いでいたい 死ぬまで嗅いで 嗅いで…いい…

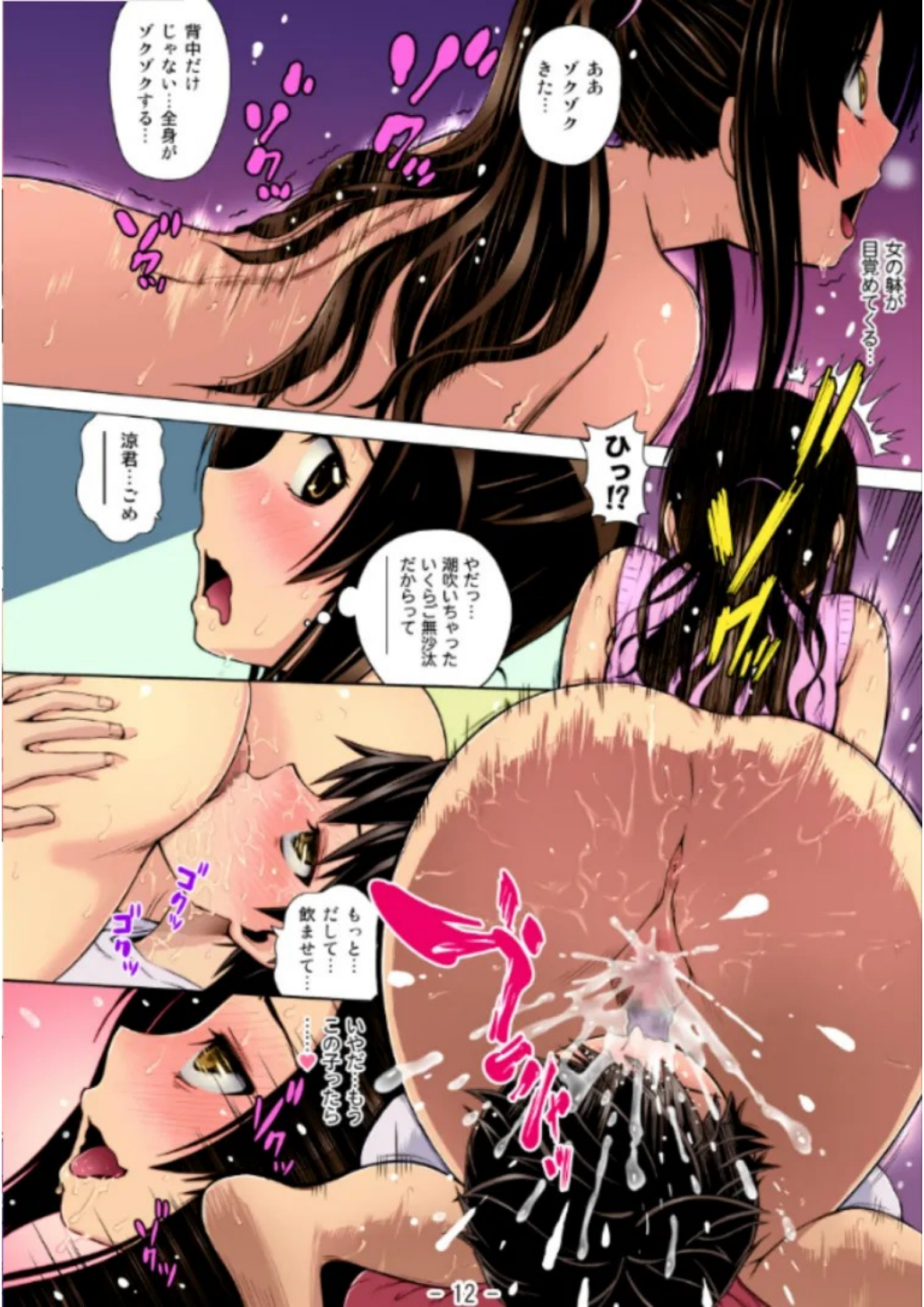
きゃっ
うそっ!?
涼君
大丈夫っ!?
涼君!?
だっ
だっ
だだだだ
大丈夫っす!!
全然大丈夫っす!!!
もうビックリ
させないでよ
急にビクビク
痙攣みたいの
したからマジ
窒息したのかと…
あれ?
ビクビク?
痙攣?
えーっ でも
乗っかった
だけだよ…
あの状況で
ビクビク
って……
まさか…
……

わっ!?ちょっと
琴乃さん
何するっすか!!!
いいから!!!
ちょっ…
琴……ん
…め……っ
!!!!!!!!
クク
カチャ
カチャ
!!!!!!!!!!!!
うっわ
本当に
射精してた
えっ?
ええっ!?
わっ!!!

え…っと…その…
ピクンッ
ちょっと…これ大きくない？それに今イッたばかりなのに…
あんなに血管浮き出して…激しく脈打ってる…
精液の匂い強烈…濃いわ……久しぶりだから頭クラクラする…
ソンッ
匂いに…酔いそう…
匂いてこれなら
ゴクンッ
ソグッ
あわわ な なに…これ……
ソグッ
ソグッ
ちょっ…
ちょっとだけ…
アッ
全身に……全身に……くる…
ビクルッ

若い子の精液…
こんなにすごいの？
こんなに…
刺激的なの？
うそ…
どうしよう…
涼君……
はい
あの…俺
気持ち…
良くて…
臭かったら
ごめん
!?

お おま…
これはお礼…
お礼だから…
ベチャッ
ネチャッ
おまんこっ!!!
ヌチャッ
嫌がっては…
ない…よね
グチュッ
ビキッ
ハァハァ
すごい
クチュッ
んこっ……
おちんちんの
このプリップリの
弾力最高♥
チュッ
ヌチュッ
心が…んん
体中が
ドキドキ
してる♥
ヌチャ
んん～ん
この青臭い匂い…
苦く濃厚な味…
ドロッとした粘り…
若さの塊だわー♥
精液の匂いが…
味が――
体の中に
染み込んでくる…
一舐めすることに
躰の隅々に
いき渡る……


女の躰が目覚めてくる…
ああ ゾクゾクきた…
背中だけじゃない…全身がゾクゾクする…
ひっ!?
やだっ… 潮吹いちゃったいくらご無沙汰だからって
涼君…ごめ
もっと… だして… 飲ませて…
ゴクッ ゴクッ
いやだ…もうこの子ったら……♥

もうっ！
サービスしたくなっちゃうじゃない♥♥
どう？おまんこおいしい？
そんなことしてくれたらもっと――
このまま死んでもいいです
あっ
んんっ
いい…涼君
だすよ…だすよ…
飲んで～
んっ
あ～ん本当に…飲んでる…
琴乃さんの匂いと…味…すごくおいしいです

私の匂いが好きなら
これはどう？
えいっ!!
えいっ!!!
ビチャッ
すごい…
鼻の中に
口の中に
おまんこ汁が
はいってくる
ヘチ…
ベチ…
おまんこの中に
顔挿入れてる
みたい…
ギュ～
ギシッ
琴乃…さん
でる…でるっ!!!
ギシッ
チロッ
チロッ
あ～ん
我慢汁
おいしい
いいわよ
いっぱい
射精してっ!!
うわっ!?
うわぁぁ
射精る～っ!!!
ビュッ
ビュッ

あっ 軽く
イッちゃった
ビクンッ
ビクンッ
んはっ!!!
ドピュ
ドピュ
おちんちんが
口の中で
暴れ回ってる……
精液が
喉に突き刺さる
この感じ……
ビク
ビク
……最高…
ちょ ちょっと
サービス
しすぎちゃったかな?
涼君!?
まさか
今度は
本当に……
って……
えーと…
大丈夫……
みたいね……
ギンッ
ギンッ

ちょっと…
ちょっとだけ
一瞬…一瞬よ…
くぅぅ〜〜〜〜
きく〜〜〜っ♥
涼君起きて
なきゃ
浮気じゃ
ないわよね
あんっ♥
まだカチカチ…
若いってすごい♥
はぁはぁ
すごい……
ガチガチだから
おちんちんが
どこにあたっているか
わかるわ〜♥
んんっ♥
あつあつ♥

ああ ここ…
ここいい♥
ここやばいわ
ジンジンくるぅ♥
これ以上
やったら
どうなるの？
…すごい…けど…
気持ちいい…けど
これ以上やったら…
私……
あうそっ
涼君…ダメッ!!!
何がダメなの？
ここっ!!
ここでしょ!!
あっ ああっ
ダメッ!!
涼君ダメ……
絶対やめ
ない……
えへへっ

琴乃さん♥
琴乃さん♥
ダメッ!!!
そこ
ダメッ!!!
いやぁ～
でちゃう…
でちゃう!!!
イヤヤアアアッ
!!!!!
吹いてる…
俺のチンコで
潮吹いてる…
見ないで～～～
見ないで～～～

ほしいんでしょ
チンコが!!!
琴乃さん
だって――
ズパンッ
これ以上は
ダメよ
ねっ 涼君!!!
もっと…
もっと吹くとこ
見せて
そんなの
無理っ!!!
あんっ
俺のチンコで
いっぱい
潮――
吹かせて
あげる!!!
ヒッ!!
ああ～らめ～
また
でちゃう～～!!!

体が…受け入れ始めてる
あらめ……らめ
おっぱいニュルニュルだよ
いやん…そんなところ嗅がないで……
腋もツンてエッチな匂いがする
乳首もコリコリッ
いやぁ～
もう琴乃さんたらそんなに嫌々したって…
ほらまた吹いた♥
だめ…完全にツボ捕まれた……
おまんこがおちんちんがっちり…噛み締めてる……
らめ…らめ…
腹が舐め回すようにねっとりおちんちん味わってる……
子宮が涎たらして精液欲しがってる…

琴乃さん…
俺…
射精そう…
射精していい？
ダメよ…
主人以外の人に
膣射精…
なんて…
琴乃さん♥
あんなに…
若くて…臭くて…
ドロッとした
精液を子宮に
流し込まれたら…
私…私…
ひいい
お腹の裏まで…
届いてる
感じて
おかしくなり
そう……
でも…
もう……
私も……
イかせて…
涼君の精液で
私の子宮
いっぱいにして…
久しぶりで
怖いけど…
君のおちんちんで…
精液で…
私を思いっきり
イかせて

こ
琴乃さん!!!
また
吹いちゃう♥
涼君…♥
ああ
でる!!!
でてるの……
いいから……
構わずに…
琴乃さん…
だ
射精すよ…
いい?
一緒よ…
一緒に
イクのよ♥
構わずに
突いて♥

琴乃さん!!!
ドグッ
ドグッ
グチャ
グチャ
膣射精…
されてる…
ビュ
ビクッ
夫以外に
膣射精されて
私…感じて
…感じて…イッ
ビクッ
ビクッ
イクゥゥゥッ
!!!!!!!!!!!!
ビュルル

した…
してしまった…
主人以外の人と…
でも…気持ち
よかったぁ～
こんなにしたの
久しぶり…
ガクッ
ガクッ
ガクッ
イきまくって
お腹が痙攣
しっぱなし
突かれすぎて
腰がガクガク……
最低……
ジョロッ
ジョロッ
あやばい…
おしっこ
でそう……
いいや
このまま
しちゃおう…
琴乃さんの
おしっこおいしいよ
ちょちょちょちょっと
!!!!!!!!!!
涼君の
バカッ
うわっ!!!
隣参…もう
どうにでも
して
こんな愛され方
したら…私……
この先
どうなっちゃうん
だろう……
とか思ってたん
だけど…2年後
あっさり彼の嫁に
なっちゃうん
だけどね